

西アフリカに根付いた日本ブランド「GEISHA」(ゲイシャ)

JFE商事ホールディングス株式会社

事業会社の川商フーズが取扱うGEISHA(ゲイシャ)ブランドの歴史は1911年、日本から米国向けにカニ缶詰を船積みした時から始まる。その後、商品群の拡充、販売国の拡大を経て世界の食卓へ広がり、来年2011年にはGEISHA誕生100周年を迎えることとなる。

今回はその中でも、日本からはるか彼方、西アフリカ、ナイジェリアとガーナの市場で人気を博す「サバトマトソース煮缶詰」(以下サバ缶詰)をご紹介します。

西アフリカ諸国への先人たちの地道な市場開拓・販売活動によりGEISHAサバ缶詰は現地の市場に浸透、日本人的な品質管理(こだ

わり)、継続的な商品供給により消費者の信頼を得ることができた。その結果、今日までの長きにわたり良質でお手軽なタンパク源として広くアフリカの食卓で親しまれている。人々は魚のトマトソース煮缶詰を総称して「GEISHA」と呼ぶほどナイジェリア・ガーナ市場の代表的な商品として市場に定着している。

一方で頭の痛い問題も。GEISHAサバ缶詰の特徴でもある緑色・魚のデザインは市場でとても目立つため、他社もそれをまねた色・デザインの商品を市場へ導入、時にはまったく一緒の偽物GEISHAまで出回ることもある。現在その対策として、ビルボード・ラジオ広告による消費者への「オリジナル(本物)」の周知、定期的な市場訪問によるチェックなどによって、偽物への対応を行っている。

2011年はGEISHA誕生100周年という大きな節目、今までの感謝の気持ちとこれからの飛躍を込めて、ナイジェリア、ガーナにおける社会貢献事業を実施する予定である。内容は、学校への机・いす(勉学)、サッカーボール(運動)、GEISHAサバ缶詰(食)の寄贈を予定しており、机・いすの製造は、社会貢献として現地メーカーに依頼する。

アフリカの人口は9億人強(2006年調べ)、人口増加率は2%超。経済も地下資源の開発など市場としての期待度は高く、弊社も主要市場(ナイジェリア、ガーナ)から新天地への拡大を目指すための拠点として、2010年中のガーナ事務所設置を進めている。今後は本事務所を中心に、より多くのアフリカの方々の手元においしいGEISHAをお届けしていく。



店頭に並ぶGEISHA缶詰



GEISHAのビルボード広告